

2020 M1

医療概論 I 「人間性教育」

オリエンテーション資料 コースガイド

2020年4月～2020年7月
2020度入学 第47回生用
筑波大学 医学群 医学類

医療概論 I 「人間性教育」 (Humanity Education)

コース Coordinator : 大原 信・斎藤 環・堀内明由美

1. 概要

- ・将来医師になる者としての自覚を持ちながら学習をする態度を身につけるために、医療の様々な側面を知り、患者の思いや立場に配慮しながら学ぶことの大切さを理解する。
- ・医学類の学習を行う上で必要な自己学習、レポート作成の方法を習得する。

2. 授業方法

例年は5ページ以降に掲載されたように、医学類の学習の基本となる小グループ討論の「テュートリアル」における学習方法を学ぶことを目的として、5つのテーマについて小グループ討論（コアタイムとグループ学習）と自己学習（レポート作成含む）を組み合わせ実施している。今年度は、学生が集まっての討論が実施できないため、e-learning 学習サイト manaba を活用したオンライン講義と自己学習により進める形で実施する。

※オンライン講義については、視聴履歴と manaba における各講義受講後のアンケート提出をもって「出席」とする

学習の進め方は以下の通りである。

1. オリエンテーション講義の視聴(4月30日に manaba 医療概論 I に関連アドレスを掲載予定) 講義動画にて1) 医療概論とは、2) 本コースにおける学習の進め方、について概説する。manaba から本ガイドと上のテーマ1 プレシナリオを事前に印刷するなどして、本オリエンテーション視聴時に閲覧できるように準備をして臨むこと。講義動画についてアンケートに回答する。

2. テーマ1 「インフォームドコンセント」

- ①manaba から、テーマ1 事前解説講義を視聴する (5月7日掲載予定)。
- ②manaba から、テーマ1 プレシナリオの続きに当たるテーマ1 シナリオ文書をダウンロードして読み、シナリオに関係するテーマについての疑問点を明らかにするための自己学習を行う。自習には指定教科書の他、各シナリオで提示された学習リソースを活用すること。学んだことの中から一つ具体的なテーマを設定し、レポートフォーマットをダウンロードしてレポート(初版)を作成する。(5月13日までにレポート案を作成する)
- ③演習1 オンライン講義(5月14日掲載)を視聴し、レポートのブラッシュアップ方法についての説明を参考にして、テーマ1についてのレポートを修正する。講義動画についてアンケートに回答する。
- ④レポート(修正版のみ)を、manaba 医療概論 I の指定された場所に提出(アップロード)する。(締め切り5月20日)
- ⑤テーマ1の解説動画を視聴(5月21日掲載予定)、解説動画についてアンケートに回答する。

3. テーマ2 「臓器移植」 (シナリオ文書5月21日掲載)

テーマ2シナリオ文書をダウンロードして自己学習し、テーマ1と共通のレポートフォーマットを作成する(講義動画はない)。レポート締め切り6月3日。テーマ2解説(書面)を学習する(6月4日掲載予定)。

4. テーマ3 「ハンセン病」(課題6月4日掲載)

課題兼レポート用紙をダウンロードして使用する。レポート締め切り6月17日。テーマ3総括(書面)を学習する(6月18日掲載予定)。

5. 演習2 (オンライン講義)(6月10日掲載予定)

テーマ1, 2の学習の振り返りを行い、医療概論 I の基盤となる医師のプロフェッショナリズム(行動規範)についてのレクチャーを視聴する。講義動画についてアンケートに回答する。

6. テーマ4 「筑波大学で医学を学ぶこと～将来どんな医師になりたいか」(6月18日掲載) 先輩医師(本学教員)4名(予定)のキャリアに関する講義(6月18日、20日掲載予定)を視聴した上で、課題に基づきレポートを作成する。レポート締め切り7月2日。(解説動画はない) 講義担当教員
: 井上 貴昭 先生(救急・集中治療科)、大原 信 先生(医療情報学)、
柳沢 正史 先生(国際統合睡眠医科学研究機構)、斎藤 環 先生(社会精神保険学)

3. 成績評価

提出されたレポートは、担当教員が評価し、コメントをつけて返却する(秋学期を予定) 下記のインストラクションに則って記載され、学習したことに基づき論旨が明確なレポートであるかについて評価する。レポートの提出がない場合にはD評価となる。

*医療概論Iは進級に必要な単位である。

4. 教科書、学習リソースについて

自己学習において、以下の教科書は各自購入して、自己学習を行うこと。参考図書および各テーマのシナリオに掲載されたリソース(Websiteを含む)も積極的に活用すること。

*教科書 [改訂版] 入門・医療倫理I 赤林 朗 編 勁草書房

*参考図書 シリーズ生命倫理学 13臨床倫理学 浅井篤編集 丸善出版
(筑波大学医学図書館ホームページ電子図書よりダウンロード可能)

5. レポートの構成

テーマ1～4それぞれについて、調べた事の中から自分にとって最も関心をもった項目を選び、学習を深めて、下記の要領でレポートを作成し、ポートフォリオの最後に挟んで下さい。

INTRODUCTION/はじめに

既に自分が知っていることを踏まえ、なぜそのテーマ・項目を選んだのか、レポートで明らかにしたいこと(目的)を明示する

METHODS/方法

どのようにして(情報源をどのようにみつけて、何をつかって)調べたのか

RESULTS/結果

調べて何がわかったか

DISCUSSION/考察

調べて得た情報から、何を考えたか

CONCLUSIONS/結論

REFERENCES/文献～情報源

記載法 本の場合 著者、タイトル、出版社、発行年、発行場所、(一部引用の場合は)頁
HPの場合 Websiteのアドレスとアクセス日

【レポート作成のポイント】

- *冒頭の目的にあった結論になっているか。
- *結果は調べてわかった事実を記載する。それに基づき自分で考えたことは考察に記す。
- *導かれた結論は、結果で記したことから論理的に説明可能か?
- *日本語として適切かを確認する(主語述語がかみあっているか、一文が長すぎないか、誤字脱字がないか。)
- **留意事項

既存資料や他人のレポートのコピペは厳禁、academic writingにおける反プロフェッショナルな問題のある行動です。

2020年度 M1 人間性教育時間割表

	水	木	土
	4月29日(昭和の日)	4月30日	5月2日
3	医療概論I 自習	関連科目他	
4	医療概論I 自習	医療概論I オリエンテーション (堀内) テーマ1 プレシナリオ提示	
5	総合科目(学問への誘い)	医療概論I 自習	
	5月6日	5月7日	5月9日(月曜授業)
3		関連科目他	国語
4		医療概論I テーマ1 インフォームドコンセント(課題提示、講義あり) (浜野)	関連科目他
5		医療概論I 自習	英語I
	5月13日	5月14日	5月16日(火曜授業)
3	医療概論I 自習	関連科目他	体育
4	医療概論I 自習	医療概論I 演習1 (堀内)	総合科目(フレッシュマンセミナー)
5	総合科目(学問への誘い)	医療概論I 自習	
	5月20日	5月21日	5月23日(水曜授業)
3	医療概論I 自習	関連科目他	医療概論I 自習
4	医療概論I 自習	医療概論I テーマ1 解説(講義) (浜野)	医療概論I 自習
5	総合科目(学問への誘い)	医療概論I テーマ2 臓器移植(課題提示:文書)	総合科目(学問への誘い)
	5月27日	5月28日	5月30日(月曜授業)
3	医療概論I 自習	関連科目他	国語
4	医療概論I 自習	医療概論I 自習	関連科目他
5	総合科目(学問への誘い)	医療概論I 自習	英語I
	6月3日	6月4日	6月6日(火曜授業)
3	医療概論I 自習	関連科目他	体育
4	医療概論I 自習	医療概論I テーマ2 解説(文書)	総合科目(フレッシュマンセミナー)
5	関連科目他	医療概論I テーマ3 ハンセン病(課題提示:文書)	
	6月10日	6月11日	6月13日(水曜授業)
3	医療概論I 演習2 (堀内)	関連科目他	医療概論I 自習
4	医療概論I 自習	医療概論I 自習	医療概論I 自習
5	関連科目他	医療概論I 自習	関連科目他
	6月17日	6月18日	6月20日(木曜授業)
3	医療概論I 自習	関連科目他	関連科目他
4	医療概論I 自習	医療概論I テーマ3 解説(文書)	医療概論I テーマ4 講義3(柳沢)
5	関連科目他	医療概論I テーマ4 筑波大学で医学を学ぶこと 講義1(井上)、講義2(大原)	医療概論I テーマ4 講義4(斎藤)
	6月24日	6月25日	6月27日(金曜授業)
3	医療概論I 自習	関連科目他	実習 生物・化学実験 (予備日) (注意:実習は5時限以降に延びることもあります。)
4	医療概論I 自習	医療概論I 自習	
5	関連科目他	医療概論I 自習	
	7月1日	7月2日	7月4日
3	医療概論I 自習	関連科目他	
4	医療概論I 自習	医療概論I 自習	
5	関連科目他	医療概論I 自習	

(以下、予定されていたコースガイドを掲載する :青字)

開講期間	春 AB モジュール	水曜日・3～4 時限・木曜日・4～5 時限 発表会：6月17日(水)3、4時限
場 所	共同利用棟B棟2階講義室1・4A棟4階セミナー室等(コアタイム、グループ討論)	

1. 概要

- ・将来医師になる者としての自覚を持ちながら学習をする態度を身につけるために、医療の様々な側面を知り、患者の思いや立場に配慮しながら学ぶことの大切さを理解する。
- ・テュートリアル学習を行う上で基本となるグループ討論、自己学習、レポート作成の方法を習得する。

2. 筑波大学卒業時コンピテンシーとの関連

すべてのコンピテンシーには関連するが、特に以下の項目を重視する。

- ・プロフェッショナリズム
社会人としての一般教養・常識を身につけ、その場にふさわしいマナーに則った行動ができる。研究倫理・医療倫理の原則を述べることができる。(レベル1)
豊かな人間性をもって、患者とその家族に対し思いやりと敬意を示すことができる。(レベル1)
社会全体の医療ニーズと医療資源の公平な分配に関する、国内外の問題点を挙げるができる。(レベル1)
振り返り・セルフマネジメントの基本的な考え方およびその必要性を述べるができる。(レベル1)
- ・コミュニケーション
患者および家族の立場に立ち、その思いや、心理社会的背景を考えることができる。コミュニケーションにおける共感、敬意、思いやりの重要性を理解できる。インフォームドコンセントの重要性を理解できる。(レベル1)
グループ学習において、グループメンバーの考えを聞き、自分の意見を述べるができる。
保健、医療、福祉の現場でケアに関わる職種を挙げるができる。(レベル1)
- ・未来開拓力
グローバルな課題に目を向け、医学・健康に関する国内外の様々なトピックに注目し、関心を示すことができる。(レベル1)
自らの考えを明らかにし、相手に伝えることの重要性を理解することができる。(レベル1)
協働学習の場において、問題解決のための議論をリードし、意見をまとめることができる。(レベル1)

3. 到達目標

- 1) 医療の目的、目標、必要性を述べる。
- 2) 医療の目標の高さ、崇高さ、困難さを述べる。
- 3) 患者にとって、身体・生活・人生、全てが医学・医療に大きく影響を受けることを説明する。
- 4) これから医学を学び、医療の専門職者を目指す者として個人を越えた目標を述べる。
- 5) 社会における医療の位置付けを説明し、最近の主な医療に関する社会的な問題の概要を列挙することができる。
- 6) グループ討論において、自分の意見を述べ、相手の意見を積極的に聞いて議論に参加し、メンバーの一員としての役割を果たす。
- 7) 自ら疑問点・問題点を挙げ、それを明らかにするための方法を述べるができる。
- 8) 学んだことを他者にわかりやすく説明する。
- 9) 医学生として、積極的に自己学習しようとする姿勢をもつ。
- 10) 基本的なレポートの構成を理解し、作成ができる。

4. 授業時間 及び 教室

- 【授業時間】 春 AB モジュール：水曜日 3～4 時限 木曜日 4～5 時限
【教室】 共同利用棟 B 2 階講義室 1 および
学群棟 4 階セミナー室・1 階 103, 104, 4D 棟セミナー室など

5. 授業方法

小グループによるチュートリアル授業：2020 年 4 月 29 日（水）～7 月 2 日（木）

教科書および参考図書（オリエンテーションで紹介）を活用して、コアタイム・グループ討論にのぞむ。

教科書 【改訂版】入門・医療倫理 I 赤林 朗 編 勁草書房

（4 月 11 日のオリエンテーションまでに購入して持参すること）

《学習の進め方》 *具体的な学習の進め方は 4 月 29 日（水）3 時限のオリエンテーションで説明する。

- ・グループメンバー表および教室は、事前に M1 掲示板で確認する。
- ・5 つのテーマについて、2 回のコアタイム・複数回のグループ討論・自習の流れで学習する。（第 5 テーマのみコアタイムは 1 回）

コアタイムとは？

学生間の小グループで討論を行う時間

チューター（討論や学習の進め方の助言を行う教員）が同席する。

テーマごとの学習の流れ

- ① プレシナリオについて、予習を行う。（テーマ1はプレシナリオなし）
- ② コアタイム〇-1【〇はテーマNo.】（チューターつき）：（指定のゼミ室）
各テュートリアル室グループメンバー間で自己紹介を行ったのちに、配布されたシナリオにもとづき、討論する。
↓
- ③ コアタイム後の自習：
コアタイム1であげた学習項目について情報収集・自己学習を行う。
↓
- ④ グループ学習（共有）（チューターなし）：自習で個別に学んだことを共有・確認し合う。分かったことから課題に戻り、更に調べることを討論する。（指定のゼミ室）
*第1テーマではグループ学習で行う討論を、コアタイム2でチューターの助言のもとに行う。
↓
- ⑤ コアタイム〇-2【〇はテーマNo.】（チューターつき）：（指定のゼミ室）
冒頭で、グループで実施したこと（共有できたこと、残された課題）をチューターに報告する。自習で学んだことを共有した上で、討論を深める。（テーマ5はコアタイム2の設定なし）
↓
- ⑥ レポート作成：（自習を行う場所：教室、図書館など自由。）
ポートフォリオの整理、レポート作成
 - ・レポートは自分の言葉でまとめる。資料のコピーアンドペーストは禁止（部分的なコピーも）、図表などを引用した場合には引用文献を記す。
 - ・ワープロソフトを用いて作成する。

《全体演習について》

全体演習1 4月22日（水）3・4時限

- ・入学してからの学習および生活を振り返る。
- ・2～3人グループ（テーマ1のグループ内で分ける）で、テーマ1のレポートを、学生間で相互評価し、提出に向けての修正を行う。
- ・テーマ1のレポートを作成して3部（自分用・グループメンバー用）持参すること。

全体演習2 5月20日（水）3・4時限

3人グループで

- ・テーマ1～2における学習方法を振り返り討論する。
- ・「生と死」をテーマに演習ワークシートを用いて個人ワークおよびグループワーク、全体討論を行う。
- ・テーマ5の事前ワークが提示される。

《講義について》

テーマ5のコアタイムにおける討論の準備のために、医療に関する様々な分野で活躍する4人の医師（教員）による講義が行われる。（日程は時間割表参照）

大原 信先生（医療情報学）、井上 貴昭先生（救急・集中治療科）、柳沢正史先生（国際統合睡眠医科学研究機構）、斎藤環先生（社会精神保険学）

